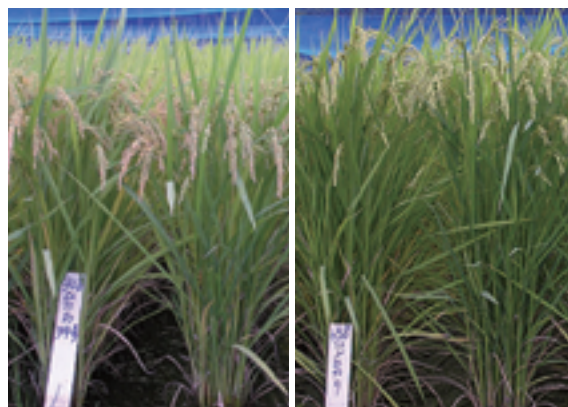


# 大粒でおいしい水稲新品種「ふくまる」 (品種登録出願中)

## ❖ 1 背景と目的 ❖

近年の食の外食化や中食化にともない、米を取り扱う業者（実需者）から、良好な品質・食味を持っていることに加えて、業務需要にも対応できる米が要望されています。また、本県では「コシヒカリ」が作付の80%を占めるため、収穫等の作業が集中し、作業分散を図る上で「コシヒカリ」より収穫期の早い品種の導入が求められています。

そこで、これらの特徴を兼ね備えた新品種「ふくまる」を育成しました（写真1）。



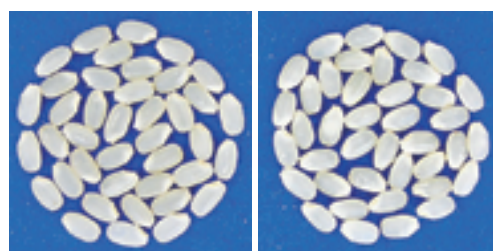
ふくまる                      コシヒカリ

写真1 草姿

## ❖ 2 研究成果の概要 ❖

### ○「ふくまる」の特徴

- ・大粒で白濁する粒が少なく、見た目が優れます（写真2）。
- ・冷めてもおいしい品種です。
- ・「コシヒカリ」と比べ、成熟期が7～10日早いため、作業の分散が可能です。
- ・多収で、倒伏しにくく、「コシヒカリ」に比べ、作りやすい品種です。



ふくまる                      コシヒカリ

写真2 玄米の外観 (各40粒)

### ○特性を活かした多収栽培法の開発

「ふくまる」について、「コシヒカリ」と栽培特性が異なることを解明し、その特性を活かした施肥管理方法等の栽培法を開発しました。施肥量を増やし、追肥の時期を調整することにより、高品質を維持しながら多収栽培ができます。

## ❖ 3 実用化に向けた対応 ❖

「ふくまる」は、県内各地で栽培試験を行った結果、安定した収量と品質が得られ、大粒で冷めてもおいしいという特性を持つことから、平成24年度から県の推奨する品種として採用しました。今後、「ふくまる」の普及と儲かる農業の実現に向けて、農家への普及を推進します。



写真3 圃場検討の様子

### 「ふくまる」に関する生産者の声、実需者の声

- ・大粒で品質も良く収量が多く、栽培もしやすいなど、優れた特性をたくさん持っているので大いに期待しています。多収栽培技術の導入により収益の確保を期待しています。
- ・大粒で見た目も良く粒がきれい。味が淡泊なので、味の濃いおかず、丼物に合うと思います。